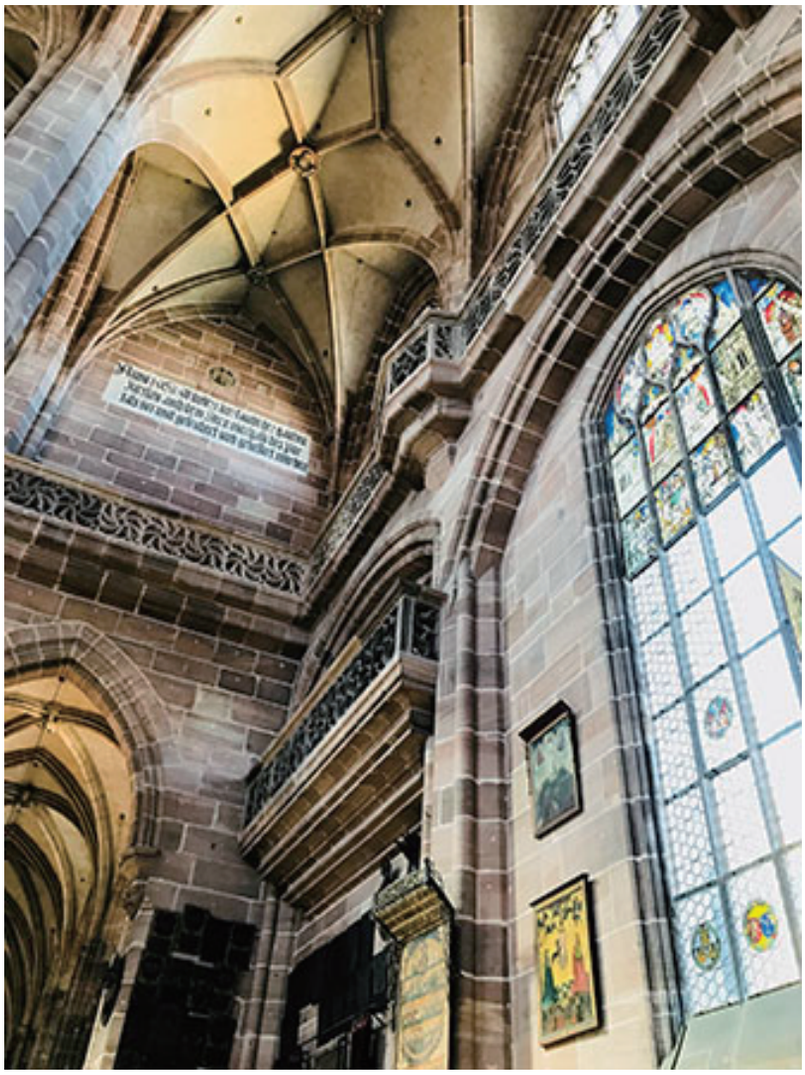
Fenestra

京大西洋史学報



第 3 号（2019 年 9 月）

京都大学大学院文学研究科
西洋史研究室

フェネストラ

京大西洋史学報

第 3 号　目次

論説

井上　浩一

女性歴史家と戦争――アンナ・コムネナの思い―― ..... - 1 -

阿部　拓児

ウズン・ユヴァの「ヘカトムノス廟」

――発見、整備とその真正性―― ..... - 9 -

書評

吉田　瞳

Ian Biddle and Kirsten Gibson (eds.)

Cultural Histories of Noise, Sound and Listening in Europe, 1300-1918 ..... - 18 -

中辻　柚珠

Maarten Van Ginderachter and John Fox (eds.)

National Indifference and the History of Nationalism in Modern Europe ..... - 25 -

伊藤　直之

正本忍著

『フランス絶対王政の統治構造再考

――マレショーセに見る治安、裁判、官僚制――』 ..... - 31 -

米倉　美咲

那須敬著

『イギリス革命と変容する〈宗教〉――異端論争の政治文化史――』 ..... - 38 -

新刊紹介

小山田　真帆

髙畠純夫・齋藤貴弘・竹内一博著

『図説　古代ギリシアの暮らし』 ..... - 45 -

石田　和生

石坂尚武著

『苦難と心性――イタリア・ルネサンス期の黒死病――』 ..... - 47 -

西洋史研究室の現在

専任教員の講義 ..... - 50 -

大学院生の研究 ..... - 55 -

第 87 回　西洋史読書会大会の御案内 ..... - 63 -

編集後記

≪表紙の写真≫：聖ローレンツ教会のステンドグラス（ドイツ）

帝国自由都市ニュルンベルクのランドマークの一つ聖ローレンツ教会は、13 世紀から 15 世紀にかけて建造されたゴシック様式の教会で、彫刻家ファイト・シュトースの手による「受胎告知」のレリーフで有名である。しかし見所はそれだけではない。教会内部には同教会の建築学的変化を追う映像資料が放映されているほか、第二次世界大戦時の被害を物語る展示もなされている。個人的には彫刻家アダム・クラフトによる「生体安置像」の先端が、アーチに沿って伸びているのが何ともいえず可愛らしい。

編集後記

『フェネストラ』第 3 号をお届けいたします。今年度は博士後期課程の大学院生が夏に相次いで留学したため、編集にやや苦労いたしました。7 月、ドイツ留学直前の吉田瞳さんにリードしてもらいながら、新 M1 の石原香さん、伊藤直之さんに第 1 回の編集作業をお願いしました。ここでノウハウを引き継ぎ、9 月に、フランス留学から戻ったばかりの谷口良生さん（創刊号編集）の協力を得て、石原・伊藤の両氏が仕上げの作業を担ってくれました。

今号も、学術的な水準を保ちつつ、きわめてリーダブルな、ひじょうに面白い論説を書いていただくことができました。お忙しい中、快くご執筆くださった井上浩一先生、阿部拓児先生に深く感謝申し上げます。

院生たちが、書評 4 本、紹介 2 本を書いています。通常の学術誌では大半の書評・紹介は依頼原稿ですから、誰からも頼まれていないのに、書きたいから、あるいは書かねばならないと感じたから書いた、このラインナップは新鮮に映ります。世代、国境、専門をこえて、率直に受けた刺激を吐露し、批判を表明することが、学界、ひいては市民社会の健全な姿だと思います。

（金澤）

2019 年 9 月 30 日発行　非売品

『フェネストラ——京大西洋史学報——』（第 3 号）
発行者　京都大学大学院文学研究科西洋史研究室

京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科西洋史研究室
電話　075-753-2791